

芳賀清さんが県民謡王座決定大会で優勝

謡の県ナンバー1を決める「山形県民謡王座決定大会」が11月23日(日)に山形市の東ソーアリーナで行われ、芳賀清さん(大石田町民謡研究会・豊田)が「一般の部」で優勝しました。

大会には県内各地区大会の入賞者が出場し、一般の部では予選を勝ち上がった15人にによる決勝が行われ、「最上川舟唄」を披露した芳賀さんが見事優勝に輝きました。大石田町民謡研究会では第51代王座の木村里美さん(下宿)に続く15年ぶり2人目の快挙です。

11月25日(火)には芳賀さんが役場を訪れ、庄司町長に大会結果の報告と今後の意気込みを語りました。芳賀さんは「長年唄い続けていた思い入れの深い「舟唄」で優勝できたことがうれしい。今年は大石田町で舟唄の全国大会を開催し、各地から愛好者が集った。町の舟運文化のPRのために、これからも唄い続けていきたい」と話していました。

大変おめでとうございます。



バイアスロン競技で世界へ遠藤佳人が表敬訪問

町出身の遠藤佳人さん(東洋大学・上ノ原地区出身)が、バイアスロン競技のユース・ジュニア世界選手権に日本代表として出場するため、11月21日(金)に庄司町長へ表敬訪問を行いました。

バイアスロンはクロスカントリースキーと、ライフル射撃を組み合わせた競技で、動と静という正反対の要素を併せ持つ競技でもあります。

遠藤選手は、高校1年生の夏に町の方から競技のことを教えてもらったことをきっかけに始めたそうで、「この競技は静と動の動きが求められるので、難しくもありますが、自分を通じてバイアスロン競技の魅力を知ってほしい」と話していました。

町がふるさと納税未来創造AWARDを受賞

ふるさと納税の「使い道」に焦点を当てた表彰制度「ふるさと納税未来創造AWARD」が11月20日(木)に東京都内で開催され、大石田町は除雪や雪国の魅力づくり施策への活用で「安心と備えのまちづくり賞」を受賞しました。

LINEによる事前投票でノミネートされた自治体の首長が、受賞式当日にプレゼンを行った後、自治体・民間関係者約300名による決選投票が行われ受賞となりました。町では全国の寄附者からいただいた寄附金を活用して、快適な雪国暮らしのための除雪体制づくり、流雪溝整備や家庭用除雪機械の購入補助、有償除雪ボランティアへの支援などを行っています。ふるさと納税でいただいた寄附金を今後も有意義に活用していきます。



産の自然薯の収穫体験が11月13日(木)に大石田南小学校隣の自然薯畑で行われました。この取り組みは町内3小学校の6年生児童を対象に、大石田町新作物開発研究会(海藤明会長)の協力で毎年実施されています。児童たちは研究会のメンバーの指導を受けながら土を掘り返し、長いもので1メートルほどに育った自然薯を次々と収穫していました。

11月26日(水)には収穫した自然薯の販売会があったまりランド深堀で行われました。児童たちは特産の自然薯をPRしました。



親子で楽しむ子育てフォーラムを開催

子育てぴょんぴょんフォーラムin大石田が11月9日(日)に虹のプラザ中会議室で開催されました。これは、町内の子育てサークル・小さなおもちゃばこの会(吾妻満代表)が毎年実施しているもので、今年で25回目の開催となりました。

イベントでは、折紙創作家の青柳祥子によるおりがみ講座が行われたほか、児童書作家の杉山亮さんによるものがたりライブなど、楽しいお話を遊びが盛りだくさんで、大人と子どもが一緒にになって楽しみました。

町内小学1・2年生に絵本を寄贈

庄信用金庫が、新庄開府400年を記念して初代新庄藩主戸沢政盛公を題材とした絵本を、町内の小学1・2年生へ計68冊寄贈しました。

この絵本は、城郭や城下町整備、新田、鉱山の開発など、新庄藩の礎を築いた戸沢政盛公の功績を描いた絵本となっています。

ご寄贈ありがとうございます。

